

琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況

神戸市

【神戸市の取り組み】神戸の水道水源

BE KOBE

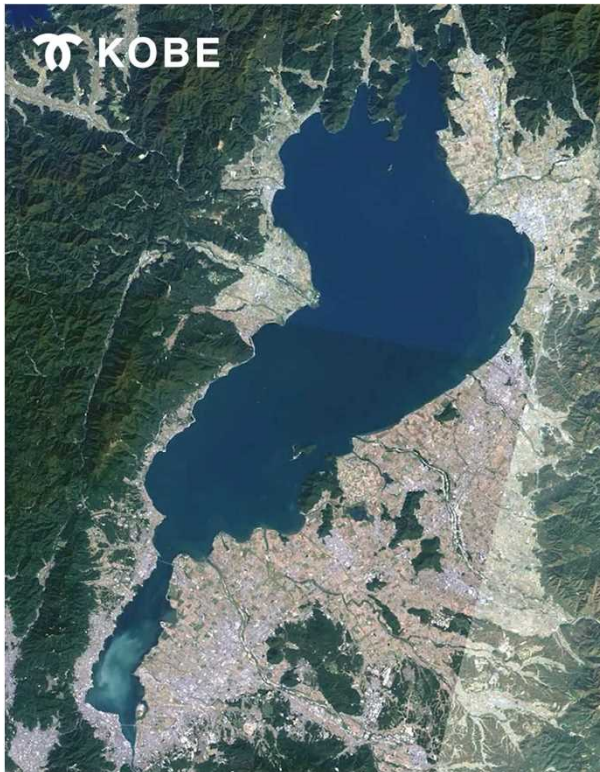


神戸市で1日に使う水の量（令和3年4月時点）

海と山に囲まれた神戸には
水源となる大きな川や湖がない

市内 3 つの貯水池と河川を含めた
自己水源は、1日に必要な水量の約23%

残る約77%は琵琶湖・淀川を水源と
する阪神水道企業団や呑吐ダム・青野ダム等
を水源とする兵庫県水道用水供給事業から購入



関西の水がめ
**琵琶湖の水が
減っています！**

琵琶湖が神戸の貴重な水源
であることを啓発する**動画**を作成

動画掲載日：令和6年（2024年）1月17日

ブルーカーボンの取組を推進

▶ 地球温暖化の新しい選択肢・生態系の維持や回復といった生物多様性の豊かさ に貢献

●ブルーカーボンとは

- ・ 大気中の二酸化炭素が海中の藻などに取り込まれた炭素を指し、藻などが海中で分解されにくく、海底へ堆積したり、水中へ漂い続けることから、重要な二酸化炭素吸収源となる



藻場による大気中のCO2の吸収・貯留（ブルーカーボン）

【神戸市の取組】

●淡水域での実証実験

神戸大学等と連携して世界初となる淡水域の水草による二酸化炭素の吸収・固定（淡水カーボン）の評価方法の確立を目指す

●神戸空港島の藻場創出

神戸空港島の周囲を緩やかな傾斜護岸で整備し、太陽光が届く浅場を広範囲に構築することにより豊かな生態系を構築

●ブルーカーボンの取り組みに対する支援

活動・研究開発に対する助成、専門家による助言 等



烏原貯水池での水草移植の様子
（淡水カーボンの実証実験）



神戸空港の傾斜護岸の藻場